


顔写真の左の二次元バーコードをスマホで読み取ると録画映像が見られます！

追跡！(過去の定例会でも質問) **鈴木 詠子 議員**




追跡！(過去の定例会でも質問) **大澤 博 議員**



**政策提案**  
11 空家解体費用等に助成を

**問** 空き家を解体し更地にした時の税金増加分を3年間の期間限定で助成をすることによる対策について伺います。解体費が高く解体することができません。解体費用補助を設けることにより、空き家解消と経済活性化が出来るかと考えますが、いかがですか。

**答** 重要な課題であることから提案の方法も含め、先進自治体の取組を調査研究いたします。その中で、補助要件等の見直しを検討します。



解体する時の費用の工面が大変

**政策提案**  
3 「伴走型」の子育て支援策を

**問** リトルベビーハンドブックの推進を。一ごも家庭庁の創設に当たり、各自治体独自の伴走型支援策が求められています。小さく生まれた赤ちゃん(1500グラム未満)のために作られた「リトルベビーハンドブック」は、保護者に向けたエールになるのでは。作成例を参考に検討を進める「リトルベビーハンドブック」は、低出生体重児の発達記録や保護者の心理的な支援に配慮されたものであり、保護者の支援に有効と考えます。県の動向を注視し、検討を進めます。



保護者へ寄り添う思いを込めて

**政策提案**  
13 水路氾濫防止対策の進捗状況は

追跡！(過去の定例会でも質問) **権田 孝史 議員**

令和元年の台風第19号で、鷹ノ巣区の請願提出「水路氾濫防止対策」3年が経過しましたが、改善対策の進捗状況は、根本的な解決策を県へ定期的に要望するようお願いしたいが、いかがですか。

**答** 令和3年、対策状況は「水路氾濫防止対策」3年が経過しましたが、根本的な解決策を県へ定期的に要望するようお願いしたいが、いかがですか。

**問** 令和元年の台風第19号で、鷹ノ巣区の請願提出「水路氾濫防止対策」3年が経過しましたが、改善対策の進捗状況は、根本的な解決策を県へ定期的に要望するようお願いしたいが、いかがですか。

**答** 令和3年、対策状況は「水路氾濫防止対策」3年が経過しましたが、根本的な解決策を県へ定期的に要望するようお願いしたいが、いかがですか。



未だ改修工事の先が見えない

**コラム** 議会は意外とオモシロイ!?

議会事務局のまなざし

**マウス持つ手に力がこもる**

議会の「熱さ」を、いかにタイミングを逃さず捉えられるか。本会議中の映像中継用カメラとマイクの操作は、事務局職員が基本1人で行います。テンポよく展開される議論の掛け合いについていくため、五感フル動員でモニターと現場を凝視。議事日程に沿って進行しますが、時にはイレギュラーも発生。切れないことない緊張感、マウスを持つ手に力がこもります。(F)





先進地の「新たな視点」を生かして

委員会レポート 各常任委員会で町の課題を調査研究。現況調査と先進地視察の報告です。

担当職員が市・町内に本社のない事業所、工場、支店、営業所がある企業に対し直接訪問やインターネットなど様々な方法で協力してくれる事業者を探す。

青梅市は平成21年には日本経済新聞社の「おすすめの梅の名所」ランキング1位を獲得するなど梅の名所として知られていますが、同年、日本国内で初めて青梅市内の梅園からウメ輪紋ウィルスが発生。企業版ふるさと納税を活用し、「青梅市梅の里再生プロジェクト」を立ち上げ取り組んだ。

三芳町は町の特徴を生かした取組を行っている。多くのサイトに掲載することにより寄附者との接点を増やし、現在では7つのサイトと契約を締結している。また、中間事業者と契約し、一部を委託、職員の事務軽減も図られている。

総務 経済 「寄居ならではの」を生かし 魅力あるふるさと納税に

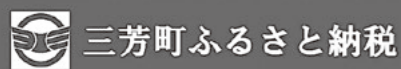
研究テーマ 「ふるさと納税」 青梅市・三芳町



再生された梅林



新鮮野菜盛りだくさん



文教 厚生 「プラごみ」削減の浸透、意識改革が寄居町の課題

研究テーマ 「カーボンニュートラル」 笠間市



マイボトル持参は日常



茨城県内初、バイオマス原料を配合したごみ袋

ペットボトル再生先の「見える化」で市民のリサイクル意識向上と「プラごみ」の削減・水平リサイクルによるCO<sub>2</sub>排出量減が期待！

笠間市が収集したペットボトルと同量が「ボトルゼロポイント」としてリサイクルされ、再度飲料の容器として流通することをサントリーグループと締結。これは東日本で協定を結んだ最初の市町村であり、1月で1年を迎えた。

また笠間市は県の公共処分場エコフロンティアがさまを有しており、溶融処理施設・最終処分場・浸出水処理施設の3つで構成。1日145トンの処理を1600℃の高温で燃焼、その熱での発電量は年間7200キロワットで国内有数である。